

万代の風

万代コミ協だより第36号

2020年(令和2年)7月5日

万代地域コミュニティ協議会

発行者：丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

= 川風と海風 萬代橋の心地よいそよぎ =

きまついた時の早さを感じることの
ごろです。紫陽花の盛りとあわせ
て、地域では万長フラワーロード
が実施されました。学校の子ども
たちとの地域のふれあい活動の一
環として教育および地域のみ
なさんの「地域（まち）！」に関わ
るという感心をよせていただき、
一歩踏み出して地域活動に感心
をもって参加、応援していただけ
ることを願います。

万代コミ協の令和2年度事業
は総会を開かず、理事の方々へは
書面による決議を行いう項目の
議事について承認をいただきま
した。よつやくスタートすること
が出来ます。コミ協は地域に関わ



本年度は経験したことがない
感染症“新型コロナ”に年初より
みまわれ様々な社会活動の延期、
中止、自粛という状況にあります。
万代地域ミニユーティ協議会も

踏み出す勇気

踏み出す勇氣

る皆様のお役にたてるようすすめまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

宮浦中学校区育成協議会
東コミセン管理運営委員会

地域に活動拠点を有する団体（33ヶ所）
万代地区防火防犯防災連合会
大屋 和弘

理事・事務局長	薄田 稔
理事・会計	武田 徳広
会計監査	栗山 丸山
理事	竹石 健一
監査	三伸 和広
出向役員	15名
自治協議会委員	飯田 陽子
中央区社会福祉協議会	薄田 駿
中央区住みよい郷土推進協議会	坂保 稔
出向組織	玲子
江東地区コミュニティ協議会	
駅前セフティーゾーン委員会	
万代長嶺スポーツ振興会	

コミニティ協議会総会
6月11日、書面通知決議を行
い、令和2年度総会審議議決が行
われ、各議題は承認議決されまし
た。令和元年度事業報告、令和元
年度収支決算報告、監査報告。令
和2年度事業計画、同収支予算
役員一部改選の五項目
以下本年度組織、役員、自治会
町内会の役員、地域で活動拠点を
有する団体の方々を紹介します。

宮浦中学校区育成協議会
東コミセン管理運営委員会

地域に活動拠点を有する団体（33ヶ所）
万代地区防火防犯防災連合会
大屋 和弘

自治会・町内会会長	(3)委員会
宮浦自治会	吉沼 和義
天明町自治会	島垣辰男
区長：小林幸吉、三浦邦雄	喜也
万代6丁目自治会	丸田 加藤
東大通2丁目自治会	井浦 正
神明自治会	繁雄
宮浦高耐自治会	
三和町自治会	
東万代町自治会	
花園1丁目町内会	丸山 健一
花園2丁目町内会	関谷 美紀枝
明石1丁目町内会	加藤 真由美
東大通1丁目自治会	高橋 潔
萬代橋町内会	猪股 一子
萬代令和町内会	塩田 富栄
(新)万代中央自治会	野口 幸一
栗山 和弘	
立川千鶴子	

総務部会長	丸山健一
会計理事	武田徳広
事務局長	田所暁雄
文化・広報委員会委員長	関谷美紀枝
街づくり部会長	竹中三伸
福祉部会長	薄田稔
防災部会長	田中和弘
青少年部会長	大屋克典
健康部会長	塩田直子
副部長	石原美幸
副部長	大宮一真
副部長	宮本

新潟市消防団万代分団	樋口俊成
万代地域社会福祉協議会	薄田 稔
万代長嶺小学校PTA	滝沢和也
万代橋を愛する会	竹石 三伸
日本赤十字万代分団	丸山 健二
万代長嶺小教育コーディネータ	塩田 美幸
万代太鼓和童	川口 泉
児童育成・万代クラブ	植木 信一
・base Life	天本 浩未
外・団体	沼垂分区 保護司会
民生・児童委員協議会	

万代コミ協メールは bankomi@gmail.com

「歴史から見る浸水災害」(連載)
 (2)「木津切れ」

阿賀野川、現在の江南区木津の破堤
 大正2年8月27日
 風速25m、973mmという猛烈な台風が東京湾口に襲来し千葉県から福島県東部を抜け東北地方を縦断した。

27日福島県でも総雨量150mmを記録。阿武隈川等が破堤し大水害が発生していた。8月28日正午、阿賀野川本流の濁流は満願寺付近の小阿賀野川周辺で四個所を破堤し、その勢いで、横越村大字木津で堤防を破壊した。

新潟市の資料によれば、「亀田郷は中世以来、阿賀野川の洪水とそれに伴う小阿賀野川の氾濫や堤防の決壊で被害を受けてきました。特に大正2年(1913)の木津切れの被害はとても大きく、賀茂神社の下流240m余りの幅で小阿賀野川の堤防が決壊しました。この木津切れで周辺の水戸口集落では家が軒ほど流され、残った家はわずか3軒、米の収穫にも大きな被害が生じ悲惨極まる水害でした。また、横雲橋の中央部も流出、亀田郷の低地で排水のよくない地域はすべて水没しました。」とある。

被害は沼垂町にも及び沼垂白山社の境内は水に没し、神社だけが水上に浮かんでいるという有様であります。



27日福島県でも総雨量150mmを記録。阿武隈川等が破堤し大水害が発生していた。8月28日正午、阿賀野川本流の濁流は満願寺付近の小阿賀野川周辺で四個所を破堤し、その勢いで、横越村大字木津で堤防を破壊した。

新潟市の資料によれば、「亀田郷は中世以来、阿賀野川の洪水とそれに伴う小阿賀野川の氾濫や堤防の決壊で被害を受けてきました。特に大正2年(1913)の木津切れの被害はとても大きく、賀茂神社の下流240m余りの幅で小阿賀野川の堤防が決壊しました。この木津切れで周辺の水戸口集落では家が軒ほど流され、残った家はわずか3軒、米の収穫にも大きな被害が生じ悲惨極まる水害でした。また、横雲橋の中央部も流出、亀田郷の低地で排水のよくない地域はすべて水没しました。」とある。

被害は沼垂町にも及び沼垂白山社の境内は水に没し、神社だけが水上に浮かんでいるという有様であります。

その後大正4年より阿賀野川の改修事が開始され、昭和8年に完了。大きく蛇行していた阿賀野川は直線に改修されたため、右岸(東側)の京ヶ瀬には新潟市の広大な飛び地が存在します。

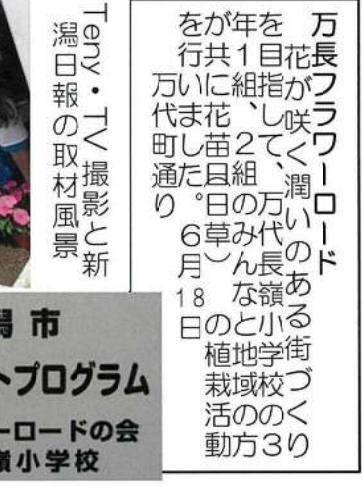
新潟市で作成された初期の河川氾濫のハザードマップはこの「木津切れ」も参考に作られていました。

木津周辺の破堤は、記録に残るだけでも13回あったとのことです。

この阿賀野川大改修により安全度は飛躍的に高まり、百余年経た現在も洪水から守ってくれています。

しかし近年、異常気象により観測

史上の記録を塗りかえ超える流水量が発生しており、14回目の破堤に至らないことを祈るばかりです。



ししるかい衛感わ表例し活夕
 たくボえらす染りにのた動と本編
 地ラまれる病しあい。がな格集
 域ソしまマとまりべ新おり的
 のテたすス。関す。ントもまな暑
 広皆イ今会のクわ。夏祭をはじめ
 報様ア号報の經風が様にじでき
 部に団はの紹体地發。毎なたが
 介を域行はまこ大中と止しま
 所掲さで時緊いときとてせ前暑
 曜載ら活期張とがくとてせ前暑
 雄しに動をを、な様の、ん半
 ま詳すむ強防い変發恒では七

まるのぶつぶつ

新型コロナと夜の街

ヒッチコックの映画「鳥」を連想させる不気味なカラスの大群。朝晩には空を覆いつくすようなカラス群れに、不吉な予感を感じた人も多かった。新型コロナ発生の数ヶ月前のことだった。。。

その後カラスがすっかり姿を消した。餌となる飲食店のゴミがなくなったからだ。そして緊急事態宣言の解除。街に最初に登場したのは群れなすカラスではなかった。窓を開けて大音量のカラオケで朝まで歌い、飲み明かす、若い酔っぱらいの徘徊だ。ふらつく足取りで騒ぎ、ゴミ箱をひっくり返す。昨年登校途中の女子中学生におれで誘いからかうような輩が真っ先に復活した。

オリンピックを見据え、住民の意向など無視して条例を変えた結果、24時間営業が可能になった。条例に守られている輩だ。駅前パトロールやゴミ拾いを行う住民の努力もむなしい。早く正常な夜の賑わい、飲食店の街に戻ってきてほしいものだ。

丸山